

# 新春のご挨拶



西日本電信電話株式会社 代表取締役社長 小林 充佳

新年あけましておめでとうございます。

平素よりNTT西日本グループの事業運営に、格別のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、「令和2年7月豪雨」「台風9号・10号」、そして新型コロナウイルス感染症の拡大など、大変困難な状況において、協会会員各社の皆様には、多大なご支援、ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて、情報通信業界を取り巻く環境は大きく変化しております。業務効率化やコスト削減を中心としたICTのニーズは、ビジネスモデルの変革や新たな市場の開拓等へと多様化・高度化する一方で、事業者間の競争軸は従前の「ネットワーク」から「SI／アプリケーション、デジタルトランスフォーメーション(DX)／スマートビジネス」などの上位レイヤーへ移行するとともに、設備レイヤーの位置付けも「競争」から「シェアリング」へと変化しています。さらに新型コロナウイルスの影響によって、社会・経済のDX・スマート化や働き方の変革等が急速に加速している状況にあります。

このような中、NTT西日本グループはWithコロナ／Afterコロナにおけるリモート型社会の進展、社会活動・価値観の変化を見据え、引き続き「ソーシャルICTパイオニア」として、お客様のご要望・課題に寄り添い、自らの強みを生かしたB2B2X型の課題解決を進めることで、お客様の事業目標達成等に貢献していくとともに、NTT西日本グループとしても持続的な成長と発展を実現していきます。

そのために、2021年は、従来の営業活動を超えて、

“自社サービス”起点から“お客様”起点のアプローチへと「営業スタイルの変革」に取り組んでまいります。NTT西日本グループが一体となり、“サブスクリプション型サービス”も含めた多様な商材をご提案・ご提供するとともに、そこから得られるお客様のデータを活用することで、更なる課題解決に繋げていきたいと考えています。

次に、「地域活性化活動」についても、引き続き取り組みを推進してまいります。地域のスマート化に資するサービスを充実させ、自治体や地元企業の皆様との民民・公民共創の活動を通じて、真に解くべき課題を探索し、その課題解決に向けて最適なサービスをお届けすることで、その地域にマッチした新たな価値を創造していきます。

また、NTT西日本グループが抱える設備を最大限生かしながら、協会会員各社の皆様とともに、長年設備を構築、維持・運用してきた技術・ノウハウを、同様に設備をお持ちの企業の皆様にご提供していきたいと考えています。

そして、これらの取り組みを下支えする土台として、NTT西日本グループ自身もDXを更に推進し効率的で無駄のない筋肉質な企業体質をめざしていきます。

このように、NTT西日本グループは、持続的成長と発展に向け、これまで培ってきたノウハウを活用しつつ、新しい取り組みに挑戦し続けるとともに、地域社会の一員として使命を果たし、SDGsへの貢献・ESG経営の実践に努めてまいります。引き続き、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。